

知的生産の技術 030107 八木先生のお話を聴いての感想

八木先生のお話は、とても分かりやすかったです。八木先生のお話を聞いて「自分史のイメージ」がわいてきた。いままで、授業でやってきてわかったことは、自分の人生に深く関わっているのは「人間関係」だということなので、人と関わりを中心に自分史を描きたいと思う。「人に共感してもらえ文章」難しいと思うけど、これを目標に頑張ってみようと思う。

あなたは誰ですかという質問が印象的だった。自分を他と区別する要素がどこにあるのか、今はひたすら探すしかないと思った。70才まで超えても知的欲求が強くていらっしやるのは、素晴らしいことだと思う。

自分をもっと歳をとったときに、自信を持って自分の生きてきた歴史を話せるようになりたいと思いました。

自分史は自分のことだけ書けばいいのかと思いました。でも周りの人や時代を書くことによって多くの人の共感を得ることができることを知りました。テーマごとに書くというのもやってみようと思いました。「読み手」のことを考えると書くといえ気がおきるし、できるだけ良いものを書こうという気になりました。客観的に書いていこうと思いました。あと、大学ノートのやり方はやってみようと思いました。

タイプ 2

自分史を考え、書いていくこと、それはその家族、その時代を書くことなのだということがとても印象に残った。自分だけで生きてたのではない、支えてくれていた家族や時代があってはじめて生きてこれたのだ。意思のある所に道は通じるということわざがあるが自分の心の中の思いが現実となっていくのだということ改めて実感できる講義だった。

自分史の書き方に悩んでいた私にとって、八木先生のお話は大変ためになりました。自分史を書き終えたとき、自分が少しでも成長できれば最高です。貴重なおはなし有難うございます。

タイプ 3

今日のお話を参考に自分史に取り組みたいと思います。すごく楽しそうに話してらした姿が印象的でした。

今日の先生のお話を聞いて、私は過去にあった嫌なことに対してトラウマを持っているのだと気付いた。今回の自分史でこのトラウマを乗り越えたい。先生のお話を聞いているうちに、今まで思い出さなかった出来事を思い出すことができた。

タイプ 4

親の人生を知りたいという想いに感動しました。「自分史」はじぶんのことだけれども、決して自分のことだけを書くのではないという新しい発見になった。

八木先生はこれまでの人生の中で、たくさんの人と出会ってきたようだが、それが私にはとてもうらやましく感じた。人と出会うためにはただ待つだけではなく、自ら理解を起こすべきなのだと思う。現在、自分史を書き進めているところだが、過去のトラウマは消えないものである。しかし、嫌な思い出と言うのは、自分を見つめ直すきっかけとなるだけではなく、成長できるチャンスでも考えられると思う。自分史が完成したときの心境の変化が楽しんだ。

自分史を書きたい。自分で満足する出来の面白い自分史を書きたい。私は私だと言える自信がある。共感してはもらえないような気がする。

[Identity]自分とは何だろう？真剣に考えてみるとすごく難しい。すごく悩んだ。「名前何てただの記号だ」確かにそう思う。「自分って誰？」と聞かれたときはっきりと答えられるようになりたいと思った。

八木先生の話は私にとってとても興味深いものでした。先生のこれまでの人生をおおまかに聞いて様々なきっかけがあって人生が色々な方向に向かっていき、なるほどと思いました。私もこれからの人生で自分をもっと探せて行けたらと思います。

私は「E」を記号化するのが苦手なのかもしれないと思いました。大学在学中に確認していきます。苦手なのは適切な記号を見つけるまでの時間がかかることです。

知的生産の技術 030107 八木先生のお話を聴いての感想

やぎ先生がお話くださったので自分史の書き方が分かり、書けるような気がしてきました。自分とは何かについて書けば良いと聞いたので今までの体験をよく思い出して書きたいと思います。自分のことだけ書くのではなくその時の身の回りのことや時代背景も混じえて書けば良いというアドバイスもいただいたので今日の講義をもとに書き進めます。

コンプレックスを持ってはいけなと話されていましたが、人間はコンプレックスのかたまりではないかと思いました。何かするたびに増えてきたは落ち込み、そのコンプレックスを消すためにまた動く。私は、正直自分は好きではありません。欠点しか見えませんし、そんな自分をどう変えたらいいか迷っています。今日はとてもためになりました。ありがとうございました。

「あなたは誰ですか？」と言う問に思わずあわててしまいました。自分には今はまだこれが自分ですという胸をはって言えるものはありませんが、これから創って生きたいと思います。自分史については嫌なことにはあまりふれたくないと考えていましたが、その上に自分が成り立っているのを見つめ直してみたいと思います。

私も大学にきて、今まで出会ったことのないような友達に出会えた。高校を卒業してから働いて、それから大学に入ってきた友達、高校3年間を海外で過ごした友達、自分の稼いだお金で大学に通っている友達など自分には考えられないような友達と出会った。そういう友達に出会ってから、自分はこれまでの人生で何をやってきたのだろうかとか色々考えた。

タイプ 4

過去のトラウマにあえてぶつかっていく姿勢がすごく勇気のある行動だと思った。変化することをおそれずにいきていこうと思う。

70才までの人生の中でこれだけたくさんのことに挑戦できるのはすばらしいと思った。こんな人生も送れるんだと何か、自分もやっていけるような気がした。自分も「生活のため」の半端な人生を送るのではなく、本当にやりたいことを見つけられるよう勇気を出してこれからを過ごして生きたい

タイプ 6

20歳までに自分の進む道があるというお話が印象的でした。

ポジティブな考えを持った人になりたいと思った。私の「自分史」もいい感じに出来上がればよいと思った。八木先生のお話はとてもよかった。

タイプ 5

他人の身の上話を聞く事は面白いという考えには共感する。これからは、私ももっと人の話に耳をかたむけようと思う。

普通の人よりも様々な経験をしておられ、本も書いているので自分史を書くのにとっても参考になった。また話の中で共感する考えもいくつかあった。

自己反省の重要性を思いました。

私も本を読んだり小説を書いたりするのが好きなので、とても参考になる話でした。自分史も自分にしか書けないような言葉で書き上げようと思います。

「自分は内向的だ」とか、親に対する引け目」といったマイナスの面に、真面目に向き合うことで自分の可能性や実力を発見していることが大変参考になりました。

先生のお話を聞いて、思ったのは、先生は生き生きとお話していて、これまでの人生の楽しさや、充実感や、たくさんの経験で得たものがにじみでているようだった。私もそんな風に人生を振り返れるように生きていきたいと思った。今日はありがとうございました。

とても濃い人生を生活している方だと思った。失敗を恐れず、チャレンジし続ける人生でとても素敵だと思う。

潜在能力は鍛えるほど発揮できる、コンプレックスを持った人、卑下ばかりしては能力は発揮できないというのが心に残ったし、勇気付けられた。

タイプ 7

自分のことだけでなく他人についても書くことで自分をより極だてられるというのが思いついていなかった。

八木先生のおっしゃる通り、他人の身の上話は聞いていて面白い。自分史を書くのにとっても興味深い講義だった。講義中最も心に残った「自分の行く道は20歳間では芽がある。どれをのぼすかが重用である」という言葉は今後自分の人生を振り返る時必ず思い出されるだろう。

知的生産の技術 030107 八木先生のお話を聴いての感想

タイプ 7

八木先生の少年時代の話聞いて、ドラマみたいな人生だと思いました。八木先生の両親の話が印象に残っています。自分史には様々なエッセンスが必要だということがよく分かりました。いろんな方向から、今までの自分を見つめなおしていきたいと思う。

八木先生のお話を聞いて、自分自身のアイデンティティを見つけることが今の自分の目標であると思いました。先生のお話を聞き、自分史を書くのに参考になりました。

自分史の書き方としてとても参考になりました。

知研創始者というコトで、野田先生のようなタイプの方を想像していましたが、全く違っていました。成功のカチは色々あるというコトに改めて気づきました。

最初に八木先生の顔を見たとき、すごく笑顔の素敵な人だなと思った。きっと今までの行き方が現れているのだと思う。先生がくれた多くのアドバイスを参考にし、「私はこういう人間だ」と自信を持っていえる自分史を完成させたい。

タイプ 8

自分史は身の上話だと八木先生がおっしゃてるのを聞いて本当にそうだと思います。

身の上話を書くの良いとおっしゃっていて、自分の身の上について考えて見ようと思いました。

偉大な人の伝記にも人との出会い、かわりなどが必ず書かれているので、八木先生のように親や大学時代のコトを書くことは、とても参考になった。

八木先生のお話で色々なことが学ぶことができました。どうもありがとうございました。

人との関わりや出来事を用いることで、人に少しでも自分のことを理解してもらえるのかもしれないと思った。

潜在能力はたくさんあって、どこを伸ばすかというお話はとてもいいお話だった。

タイプ 9

人の脳は15歳でだいたい完成するといいますが、その時期に戦争もあり両親を亡くしたりショックの大きいインパクトのある少年時代だったのにも関わらず、それらにそくばくされることなく自由な過ごし方をその後送ってこられたなんて単純にすごいと思いました。貴重なお話を聞いて、本当にありがとうございます。

他人と自分の人生を比較することで、長所や短所も見えてきてしまう気がします。

自分史をどのように書けばいいのか、ずっと悩んでいたのですが、八木先生の話がすごく参考になりました。自分史をつくり、自分を見直し、将来についてもっとよく考えたいと思います。

自分史を書くときにその時代の話も書くと、人と共感できるということが印象に残った。また、そのときの家族の様子を書くときとさまざまなものが見えてくるので私も自分史を書くときに参考にしたいと思った。過去の経験から今の自分ができていると思うので、過去の出来事を思い出して書いていきたい。

人は必ず環境との関わりの中で成長するのだから周囲の物事も書かなければならないというのうなずける。自分史は人に読んでもらって、感想をもらうことによって初めて意義があるのではないかと思った。

八木先生のお話を聞いて、自分史を書くのが楽しみになりました。

タイプ 9

八木先生のお話を聞いて、「自分史」をかけそうな気がしてきた。

八木先生の人生というのにも深みがあって、すごいと思った。

いろんな経験や学習、性格、能力、関心などが全て仕事や人生に関係していくんだなと思いました。

「あなたは誰ですか」という質問について色々考えてしまいました。私はこんな人です」といえるように自分をより深く見つめてみる必要があると思いました。八木先生の話参考にしつつ、自分史を書いて行こうと思います。

知的生産の技術 030107

過去の自分を振り返ってみると、今の自分に至る間では全て他の人からの影響を受けてきたことが一番重要だと気づき、自分史を書く上での良い参考になりました。八木先生は50歳を過ぎてから自分のライフワークを始めてから、70までひたすらそのライフワークを頑張ってきたという話を聞いて、いくつになっても人はそういった意志を持つべきだと思いました。

自分史を書くことで、自分についてよく考えたいと思います。八木先生は多くの経験をして、多くの人と出会うことで自分の能力を向上させていて、私も見習いたいと思いました。やはり行動は重要だと感じました。八木先生の話聞いて自分も変わりたいと思いました。

その他

自分のアイデンティティを時間をかけて考えていきたい。

自分史を書くときに参考になるような話を聞いてよかったです。自分の周りの人や自分に影響を与えた人のことも調べてみようと思いました。

八木先生のお話を聴いての感想

八木先生の講義とても勉強になりました。

自分という人間を知るためには、過去の辛い経験も書かなければならないと知った。

自分史をどのように書いたらよいか悩んでいた時だったので、とてもよいアドバイスになりました。自分の生い立ちに限らずに、視野を広げて自分史を書いていきたいと思いました。

大変タメになったお話でした。

自分史の実際の書き方についてアドバイスをいただけたので、大変参考になりました。八木先生のお話を図解された久恒先生さすがです。一目で今日の内容が分かりました。

八木先生が自分の人生を話すときの心の気持ちが何かしら感じた。それは当時の楽しい思いや境遇が伝わってきて、八木先生自信が素敵な人生を送っているのだと思いました。

NPOの早分け的なことをしてきたと聞いて、大変驚きました。

波瀾万歳の生涯を送っているようには感じない話だったが、温かい印象を受ける人生を送ってきたように感じた。質的に豊かな人生と思えるような過去だったので、うらやましかった。自分の将来像とするような人に会えて良かった。